

鹿児島離島サミット

Kagoshima Islands Summit

～住み慣れた島で最期まで生きるを考える～

Considerations on Aging in Place on Kagoshima's Remote Islands

開催の趣旨

離島・へき地の看護・保健活動の範囲は幅広く、予防活動や治療行為、急変時の対応からターミナル期のケアまで様々である。特に、医師の常駐しない離島・へき地の診療所で働く看護師は、住民にとって最も身近で頼りにされている医療従事者である。しかしながら、離島・へき地で活動する看護師は、継続教育や研修の機会が限られているのが実情である。看護師のもてる力を十分に引き出し活用することに目を向け、Living in Placeに関する課題解決に向けた教育システムを確立させることは、今後の離島・へき地の看護活動を発展させ、島民の健康を守る上で不可欠である。

本サミットは、離島・へき地における看護活動のネットワークを構築することで、人材確保や看護の質の向上に貢献し、離島看護の発展をめざす活動の一環である。一日でも長く島で生活をしたいと望んでいる島民のニーズに対する看護の質の向上を図る取り組みである。2024年度は、離島における看取りに関する看護職の課題を共有する。

日時

2025年2月15日（土曜日）13:00～17:00

会場

【対面開催】鹿児島県医師会館大ホール

【オンライン】Zoom（ライブ配信）

共催

鹿児島大学医学部保健学科
NPO 法人メッセンジャーナースかごしま
鹿児島県看護連盟（青年部）
公益社団法人鹿児島県看護協会
鹿児島大学病院看護部

後援

鹿児島県（予定）
鹿児島県町村会
鹿児島県歯科医師会
鹿児島県薬剤師会
鹿児島県栄養士会

プログラム

司会：青木隆子

13:00~13:15 開会挨拶

共催を代表して：NPO 法人メッセンジャーナースかごしま 代表理事 田畑千穂子

来賓挨拶：全国離島振興協議会 理事 三島村村長 大山辰夫

鹿児島県保健福祉部 部長 房村正博（予定）

参議院議員 石田昌宏

13:15~15:00 基調講演

1. 未来を切り拓く離島看護 公益社団法人日本看護協会常任理事 井本寛子

2. 韓国における保健診療員の役割 中央大学校赤十字看護大学（韓国）

教授 Heechong Baek

3. 離島における看取りに関する倫理的課題 鹿児島大学医学部保健学科教授 八代利香

15:00~15:10 休憩

15:10~16:50 鹿児島の離島医療に関するシンポジウム（発表一人 15分 意見交換 15分）

座長 鹿児島大学病院 診療看護師 福元幸志

1. 医療の現状と課題—三島村における急患搬送の実態—

三島村竹島へき地診療所 保健師・看護師 前田慶太

2. 宝島でのアイランドファミリーナース4年間の活動報告

元十島村宝島へき地診療所（現鹿児島大学病院） 看護師 戸崎緑

3. 島全体で取り組む地域包括ケア（与論島）

リニエ訪問看護ステーション鹿児島 管理者

メッセンジャーナース・認定看護管理者 末永真由美

4. 離島の現行法では対応できない医療ニーズの実際と課題～十島村中之島へ在籍
出向して～

鹿児島大学病院 救命救急センター 診療看護師 岸良達也

5. 種子島医療センターにおいて診療看護師のやるべきこと

種子島医療センター 診療看護師 竹之内卓

6. コンパッション・ヴィレッジ大和村

国民健康保険大和診療所 医師 小川信

16:55~17:00 閉会挨拶

共催を代表して：鹿児島大学医学部保健学科基幹看護学講座 教授 八代利香